

補助事業番号 20-149
補助事業名 平成20年度 猟銃等の保安・安全対策補助事業
補助事業者名 社団法人 日本猟用資材工業会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

猟用資材、即ち猟銃等及び弾薬は、狩猟及び射撃の分野において長い歴史を有しているが、公共安全、秩序の維持に密接に関わるものであるため、規制は強化の傾向にあります。また、猟銃等に対する社会一般の理解認識も、近年、自然保護思想の普及、レジャーの多様化、違法である銃器等を用いた悪質な事件等も発生していることから、一層厳しいものとなっております。

本事業は、厳しい状況下でも猟銃の自然環境に対する有益性並びに健全な銃砲スポーツ志向が認識される限り、猟銃等及び弾薬の安全性を基本とする品質性能の向上と安全な使用方法の啓発等を推進し、狩猟場所及び射撃場の環境対策にも積極的に取り組み、もって公共安全を確保するとともに、機械工業の振興に寄与することを目的とするものであります。

(2) 実施内容

① 猟銃等の安全に関する技術研究事業等

(a) 高速度ビデオカメラの新設

銃器及び装弾に関連する高スピード現象を高速度ビデオカメラにより分析し、銃の安全性向上、装弾の品質向上を図る。

イ) 銃の落下安全テストに対する耐衝撃性の高い撃発機構の開発。

ロ) 特に散弾銃で重要視されるトリガー(引き金)メカのロックタイムの測定、部品動作を分析し、引き金と装弾のスムーズな発射機構の確立を図る。

ハ) 自動装填式銃の回転不良(機能不良)の原因究明をし、対策に実施等に役立てる。

ニ) 発射時の銃の動きを分析し、命中精度、反動感の低減(台木の寸法、パットの形状等)を図ると共に、射手の指、腕、体の動き等の分析を行い同射現象(一回の引き金で2発発射される)の分析と改善を図る。

ホ) 装弾ワズ形状のパターン(散弾の広がり)への影響、パターン均一性への影響を調査し、ワズ(クッション)の改善(装弾の品質改善)を図る。

ヘ) チョーク(銃口の絞り)形状と散弾の散らばり具合、ショットコロン(散弾の飛行塊)の状態を調査し、チョークの改善を図る。

② 猟銃等製造工業の振興に関する事業

(a) 射撃場に排出された鉛散弾の回収・再利用のシステム化

平成19年度に欧州の射撃以上の鉛散弾等環境問題対策実施状況を調査し、その結果

を国内射撃場の鉛散弾等による環境問題への対策を実施している。

今年度も引き続き射撃場の鉛汚染問題に調査結果を反映させ、改善を図る。

2. 予想される事業実施効果

① 猟銃等の安全に関する技術研究事業等

(a) 高速度ビデオカメラの新設

- i) 猟銃の暴発、同射等猟銃の保安上重要な撃発機構の異常に対し、速やかに原因究明・対策が実施できるようになった。
- ii) 散弾のパターン、ショットコロンの撮影(分析)が可能になり、これ等に影響するワッズの改善による装弾の品質改良や銃のチョーク等の改良が容易になった。
- iii) 銃口から任意の距離での散弾や1発弾の飛翔速度を測定できるようになった。

② 猟銃等製造工業の振興に関する事業

(a) 射撃場に排出された鉛散弾の回収・再利用のシステム化

本年度に実施した13件の助成事業及び121件の射撃場から排出される排水の鉛濃度測定に対し、効率的に反映することができた。

3. 本事業により作成した印刷物等

1) 平成20年度猟銃等保安・安全対策に関する事業報告書

- ① 猟銃等の安全に関する技術研究事業等
- ② 猟銃等製造工業の振興に関する事業

4. 事業内容についての問い合わせ先

ニホンリョウヨウシザイコウギョウカイ

団体名 : 社団法人 日本猟用資材工業会

住所 : 郵便番号 103-0022

東京都中央区日本橋室町4丁目1番1号(水産機械ビル3F)

代表者 : 会長 上田 文英(ウエダ フミヒデ)

担当者名 : 専務理事 中里 典男(ナカザト ノリオ)

電話番号 : 03-3275-3886

F A X : 03-3271-8573

E-mail : mail@saama-japan.com

U R L : <http://www.saama-japan.com/>